STEP1 鶴弥の防災瓦なら、地震、台風にも安心



軽量化実現

これまでは 非常に重い屋根（土葺き屋根）



地震のズレ発生



以前の土葺き工法はたくさん土を使っているため建物に負担がかかっています。また釘での固定をしていないので地震の際に瓦がズレ落ちてしまいます。

ズレ・飛散防止

これまでは 固定不足屋根



台風で飛散



以前は釘止め基準が4枚に1枚程度の釘打ちでした。大きな台風で屋根材が飛び、隣の家に被害がおきることもあります。

棟部の固定

これまでは 棟の銅線が見える



棟の崩壊



棟を銅線で固定している場合、その多くが棟芯材が入っていないため、地震時に棟が崩壊する可能性があります。

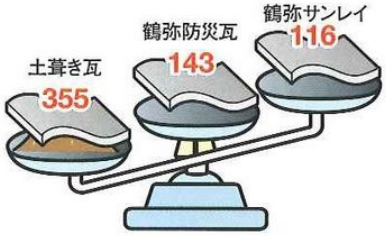
鶴弥の防災瓦なら

土を使わないので軽量化実現



鶴弥の防災瓦にすれば屋根の重量も土葺き工法の約半分程度になります。さらにサンレイなら20%の軽量化を実現しています。

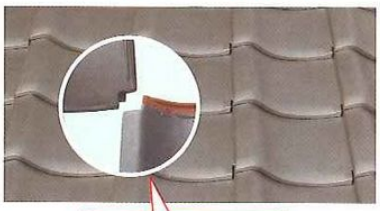
屋根重量約70%軽量



屋根材別重量比較（坪当たり）単位:kg

鶴弥の防災瓦なら

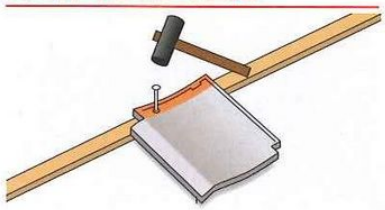
ロック工法でズレ・飛散防止



瓦同士をガッチリロック



瓦を釘でしっかり固定



鶴弥の防災瓦なら

ガイドライン工法で崩壊防止



※棟金具仕様は、地域によって仕様が異なります。



さらに…
フリーエアーロールで
軽量化、耐震性も向上

ガイドライン工法
阪神大震災などの震度7クラスの揺れに耐えられるよう化学的実験により実証された、全日本瓦工事業連盟の推奨する耐震工法。

不安・不満を解消し、新築同様に生まれ変わります。
安全・安心・長持ちな鶴弥の防災瓦で葺き替えましょう。